

電力需給に関する検討会合（第８回）・エネルギー・環境会議（第１２回）
合同会合
概要

日時：2012年7月25日（水）17:25～17:37

場所：官邸４階大会議室

出席者：野田 内閣総理大臣、藤村 内閣官房長官、古川 国家戦略担当大臣、枝野 経済産業大臣、細野 環境大臣兼原発事故の収束及び再発防止担当大臣、平野 復興大臣、松原 国家公安委員長、松下 内閣府特命担当大臣（金融）、中川 内閣府特命担当大臣（防災）、平野 文部科学大臣、郡司 農林水産大臣、羽田 国土交通大臣、齋藤 内閣官房副長官、長浜 内閣官房副長官、竹歳 内閣官房副長官、石田 内閣府副大臣、大島 総務副大臣、山口 外務副大臣、五十嵐 財務副大臣、辻 厚生労働副大臣、松野 法務大臣政務官、下条 防衛大臣政務官、本多 内閣総理大臣補佐官、樽床 民主党節電対策本部長、大畠 民主党エネルギーPT 座長、小川 民主党政調副会長、前田 内閣官房参与

（古川 国家戦略担当大臣）

- それでは、ただいまより「電力需給に関する検討会合（第８回）・エネルギー・環境会議（第１２回）合同会合」を開会いたします。御多忙の中、御参集いただき、誠にありがとうございます。
- 本日は、野田総理大臣に御出席をいただいております。また、党よりは樽床 党節電対策本部長、大畠 党エネルギーPT 座長、小川政調副会長に御出席をいただいております。
- はじめに、藤村官房長官からごあいさつをお願いいたします。

（藤村 内閣官房長官）

- 党からも御参集をいただきまして、ありがとうございます。また、皆様方にも、お忙しい中を御参集ありがとうございます。
- 今月、7月2日から全国各地で節電が開始されました。北海道だけは、数値目標付きの節電要請は7月23日からであります。先週から、各地で梅雨が明けつつありますが、国民の皆様への節電の御協力や大規模な電源脱落などはないことから、足下の電力需給というのは、今のところ安定している状況であります。
- ただし、これから夏本番を迎えるにあたりまして、気温の上昇により需要が急増するおそれや、あるいは大規模な電源脱落等のリスクもあることから、

まだまだ予断を許さない状況であります。引き続き、需給の状況を注視し、しっかりと節電を呼びかけていくことは必要だと思っています。

- 6月16日の4大臣会議決定を踏まえて、7月9日には大飯原発3号機、また本日未明には4号機の再起動が確実となりました。4号機の再起動に伴う節電目標の改定というものを、この基本的な考え方は、先日、私の方から記者会見等でも説明をさせていただきました。本日は、この節電目標改定、セーフティネットとしての関電管内の計画停電の在り方等についての決定を行う会議でございます。
- 皆様の活発な御議論をお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

（古川 国家戦略担当大臣）

- ありがとうございました。それでは「今夏の電力需給対策の改定について」に関しまして、枝野経済産業大臣から御報告をいただきます。

（枝野 経済産業大臣）

- お手元のA4横置き色刷りの資料に基づいて、説明させていただきたいと思います。
- 本日未明に、4号機が定格熱出力一定運転に達しました。これに伴う電力の供給増を踏まえ、明日26日より、需要家の皆さんにお願いしている節電目標及び政府の節電目標を改定させていただければと思います。
- まず、関西の需給逼迫に対応して御協力をいただいている中部、北陸、中国の管内については、数値目標を伴わない節電要請に切り替えます。
- 四国については、御協力の側面と自らの側面の両方がございまして、節電目標を一昨年比▲7%以上から▲5%以上に軽減します。
- 関西電力管内については、特に地元から、計画停電を避けたい、そのために節電の努力が緩むのが心配であるという懸念もございまして、それを踏まえ、引き続き▲10%以上を要請します。ただし、生産活動に支障が生じる場合は▲5%以上の軽減ということにさせていただきます。
- 更に、従来からお願いしていました高齢者、乳幼児などの弱者、熱中症等の健康被害への配慮について、改めて徹底をするということにさせていただければと思います。
- また、関西電力管内では、万一の場合、計画停電を1日2回実施する可能性がありましたが、今回の供給力増加を踏まえ、北海道、四国、九州電力管内と同様に最悪のケースでも1日1回という想定の準備に切り替えたいと思っております。

- なお、これによって関西の供給力は増したものの、いまだ大型発電所の脱落等による供給力の減少、今後の気温のさらなる上昇、今日の気象庁の発表ですと、8月は暑くなりそうだと聞いております。それに伴う需要の急増といったリスクがあります。例えば、今日初めて九州は電気の使用率が90%を超えました。節電が全くなかったら、という状況に入りつつあるわけでございます。
- したがいまして、各省におかれては節電の対応を緩めることなく、引き続き国民の皆さんへの呼びかけを含め、御協力をお願いしたいと思います。私からは以上です。

（古川 国家戦略担当大臣）

- ありがとうございました。ただいまの御報告につきまして、御質問、御意見等ございましたらお願いいたします。

（山口 外務副大臣）

- 今、官房長官から活発な議論をということで申し訳ないのですが、私思うに、私が寡聞にして知らないだけかもしれませんが、外国のお客さんが来たときなどによく、日本の原発はこれからどうなるんだと、電力はどうなるんだということで、なかなか答えにくくて困っています。
- それにも増して、国内で金曜日にあれだけデモが起こっていて、我々が全体像をもしもきちんと示せていないのであれば、この大飯3、4号機から始まるのではなくて、本当は全体像から行くべきではないかと私は強く思うんですけれども、それに対してはどういう状況なのでしょう。

（古川 国家戦略担当大臣）

- まさに今、エネルギー・環境につきましては、このエネ環会議の下で3つのシナリオをお示しさせていただいて、国民的な議論をお願いさせていただいているところであります。
- その議論を踏まえて、政府としては、8月をめどにエネルギー・環境戦略をまとめるということをやっていきたいと思っています。

（山口 外務副大臣）

- 順番が逆ではないでしょうか。こちらが先よりも、そちらがまず先なのではないでしょうか。

（古川 国家戦略担当大臣）

- そうした御意見もございますけれども、まさにこれについては、これまでも経産省の総合エネ調の基本問題委員会であるとか、あるいは環境省の中環審とか、それぞれで御議論をいただいて、それを踏まえてシナリオという形でお示しをさせていただいておりますので、その過程の中でさまざまな御議論をいただきたいと思いますっております。

（山口 外務副大臣）

- ここでやめますけれども、やはり全体像を示せていないと、どうしても国民の不安にできていないという気持ちを私は非常に強く感じるものですから、皆さんがどう思っておられるかわかりませんが、この懸念をできれば共有していただきたいと思います。

（古川 国家戦略担当大臣）

- 他にございますか。よろしゅうございますか。ありがとうございます。
- それでは、ただいま御議論をいただきました「大飯原子力発電所 4 号機の再起動に伴う節電目標の見直しについて」、また「大飯原子力発電所 3, 4 号機の再起動に伴う『セーフティネットとしての計画停電について』の見直しについて」、そして「大飯原子力発電所 3, 4 号機の再起動に伴う『今夏の政府の節電行動計画』の見直しについて」を電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議として決定させていただくことよろしゅうございますか。

（各大臣異議なし）

（古川 国家戦略担当大臣）

- ありがとうございます。それでは、御賛同いただきましたので、電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議として決定させていただきたいと思います。
- 最後に、野田総理大臣から御発言をいただきたいと思います。プレスが入室しますので、しばらくお待ちください。

（報道関係者入室）

（古川 国家戦略担当大臣）

- それでは、総理、よろしくお願いいたします。

（野田 内閣総理大臣）

- 本日未明、大飯原子力発電所 4 号機がフル稼働をいたしました。これに伴って、明日 26 日より、節電目標を改定することにしたいと思います。
- 具体的には、関西電力管内については、現在、一律一昨年比 10 %以上の節電をお願いしておりますが、生産活動に支障が生じる場合は 5 %以上に軽減することにいたします。
- 高齢者や乳幼児等の弱者の方々については、熱中症等の健康被害に遭わないよう、健康最優先で無理のない節電を行っていただければ十分であります。
- 他方、それ以外の需要家の皆様には、引き続き、一昨年比 10 %の節電をお願いいたします。
- また、これまで中西日本における広域の電力の融通のため、数値目標を伴う節電を要請してまいりました中部、北陸、中国電力管内については数値目標を解除し、四国電力管内については一昨年比 7 %以上から 5 %以上の節電目標に軽減をいたします。各電力管内の皆様には、これまでの節電努力に改めて感謝申し上げます。
- なお、関西電力管内では、計画停電のリスクが相当程度低減いたしました。このため、北海道、四国、九州電力管内と同様、関西電力管内でも必要最小限の準備を行う対応で十分と判断いたしました。
- 政府は、電力需給に万全を期すために、今後とも全力を尽くしてまいります。国民の皆様には、引き続き、節電への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

（古川 国家戦略担当大臣）

- それでは、メディア関係者はここで御退室をお願いいたします。

（報道関係者退室）

（古川 国家戦略担当大臣）

- それでは、これをもちまして「電力需給に関する検討会合（第 8 回）・エネルギー・環境会議（第 12 回）合同会合」を終了させていただきます。
- なお、今回の配付資料はすべて公開とさせていただきます。会議の内容につきましては、会議終了後に経済産業省にてブリーフィングを予定しております。
- 本日はどうもありがとうございました。

以上